

ドラゴンフルーツ摂取後に 一過性の鮮紅色尿を呈した 5 歳男児

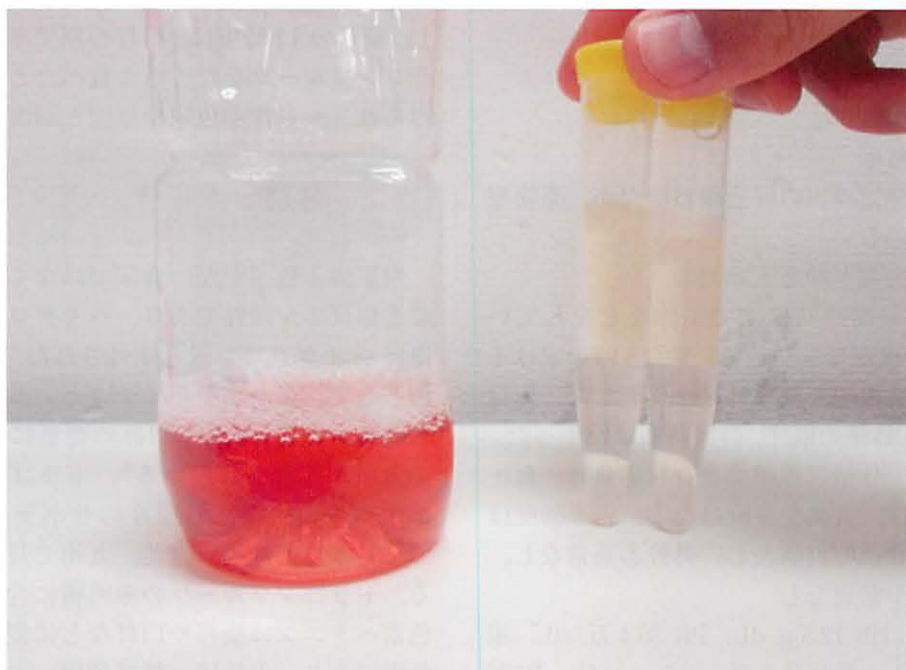


図 尿の外観

持参した午前 8 時の鮮紅色尿（左側のペットボトル）と同日午前 11 時に採取した無色透明の尿（右側の採尿容器 2 本）

ドラゴンフルーツ摂取 後に一過性の鮮紅色尿を呈した 5歳男児

* 東邦大学医療センター佐倉病院小児科

もとやま
本山おさむ
治*ほしの ひろ き
星野 廣樹*たての あきひこ
館野 昭彦*

1 症例

症例：5歳，男児

主訴：赤色尿

既往歴：発達障害の経過観察中だが，薬物療法は受けていない。

家族歴：両親と妹2人は健康。

現病歴：昼間は幼稚園で工作などをしていて，20時の尿がピンク色で，翌朝8時の尿は赤くなり（図），母親と救急外来を受診した。先行感染，発熱，外傷の既往，排尿時痛はなかった。

身体所見：体格は標準で全身状態良好，血圧92/58 mmHg，貧血や黄疸はなく，腎・膀胱は触知せず，背部叩打痛なし，外性器異常なし，下肢に浮腫や紫斑なし。

検査所見：Hb 12.5 g/dL，Plt 36.4万/ μ L，尿酸3.2 mg/dL，総ビリルビン0.5 mg/dL，BUN 11.4 mg/dL，Cr 0.34 mg/dL，CRP<0.01 mg/dL，尿中Ca/Cr 0.03 mg/mg。持参した午前8時の尿は鮮紅色だったが，試験紙法で尿潜血・タンパクとも陰性で沈査でも赤血球は認めなかった。午前11時に採取した尿は無色透明であった。超音波検査で腎尿路の形態異常，結石，ナットクラッカー症候群なし。

経過：救急外来受診の翌日に再診したが，赤

色尿の再発はなかった。再診時も母親と受診し，前日の14時頃に，祖母の家で赤く熟したドラゴンフルーツをたくさん食べたという情報が得られ，一過性赤色尿の原因と診断した。

2 考察

肉眼的赤色尿だが，血尿ではなく，試験紙法で潜血反応が陰性であり，ヘモグロビン尿（溶血），ミオグロビン尿も除外された。赤色尿の原因として，赤かぶやキイチゴといった食物が知られている¹⁾。また，口紅の変更による女性の赤色尿が報告されている²⁾。ドラゴンフルーツは中南米の熱帯雨林原産のサボテン科の植物で，日本では沖縄，奄美，九州で栽培されている。ドラゴンフルーツの赤肉種に含まれる赤色素ベタニンは染料や口紅などに使われる天然色素であり，赤色尿（鮮紅色尿）の原因と考えられた。

文献

- 1) Davis ID et al : Conditions particularly associated with hematuria. Kliegman RM et al (eds) : Nelson Textbook of Pediatrics 18th edition, Saunders, 2007 : 2168-2188
- 2) Mir TH et al : Lipstick obsession and red urine. Kidney Int 2018 ; 94 : 223